

【活動日誌160】文化財登録プレートのレプリカを作成しました

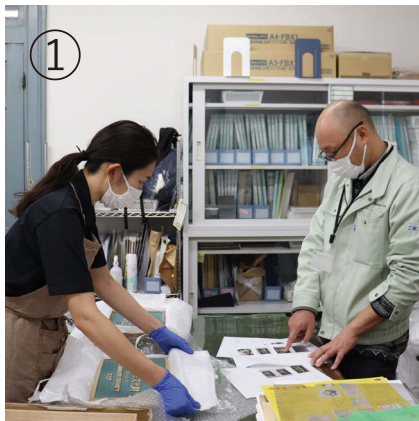
当館が活動拠点としている本学一号棟は、2020年4月に「旧東京市麻布区役所庁舎(日本獣医生命科学大学一号棟)」の名称で国の登録有形文化財(建造物)となりました。登録有形文化財として文化財登録原簿に登録された建物には、国から登録有形文化財であることを示すプレートが交付されます。プレートは文化財となった建物の外壁などの屋外に設置されることが一般的ですが、当館ではこのプレートを屋外に設置するのとともに、展示室でも紹介するためにプレートのレプリカを作成しました。

レプリカは、3Dスキャナーで実物を計測した結果をもとに原型を作成し、実物と同じく銅を鋳造して作成しました。これらの作業は株式会社トリアド工房に依頼をしました。

現在は実物・レプリカともに博物館事務室にて保管しておりますが、後日1階定期交換展示室にてレプリカの展示を開始する予定です。また、今後は実物を屋外に設置し、どなたでも御覧いただけるようにすることを計画しています。

(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館



- ① プレートの納品の際に、製作工程を説明してもらっている様子。
- ② 納品された文化財登録プレートのレプリカ。こちらは資料として展示に活用する予定です。

【活動日誌161】

医獣祭・オープンキャンパスに合わせて博物館を開館しました

11月3日から5日にかけて、本学の第6回医獣祭とオープンキャンパスが開催され、当館もそれに併せて特別開館いたしました。

当日は博物館の3つの展示室(歴史系展示室・自然系展示室・定期交換展示室)を予約なしで一般公開すると共に、11月3日に併せて、当館が付属博物館に改名して初めての企画展「日本獣医生命科学大学博物館 第1回企画展 キリンが来た道～麒麟児 長次郎の歩み～」の正式な公開も開始しました。

3日に413名、4日に459名、5日に502名、合計1,374名もの方にご来館いただきました。久しぶりに学外からの参加ができる大学祭の開催となったため、卒業生の方や学生のご親族の方など、大学に縁のある方々がご来館され、一号棟の変わらない姿を見て懐かしんでいらっしゃいました。また大学祭に来たお子さん連れのご家族が多く来館され、初めて博物館に来てくださった方々からは、予約してまた見に来たいというお声をいただきました。

企画展は来年5月末までの長期間の開催となりますので、ぜひ事前予約の上ご見学いただければと思います。

(スタッフ 廣瀬)

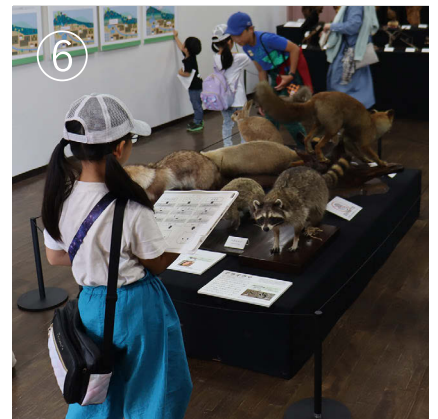
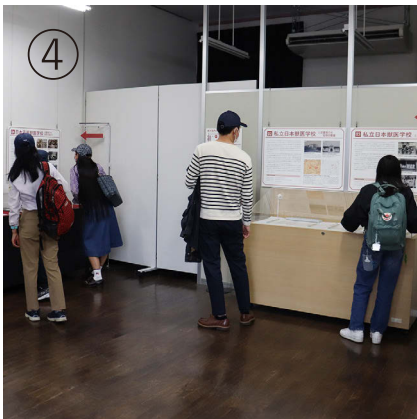
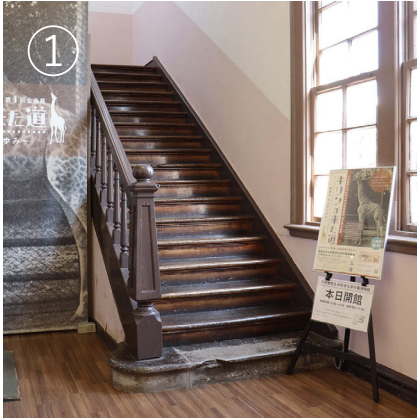
#企画展 #日本獣医生命科学大学 #博物館

■来館案内

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004/access/index.html/>

企画展と常設展の見学は「来館案内」ページのからお申込みいただけます

2023年11月9日の記事



- ① 正式公開に併せて、企画展のポスターも館内・学内に掲示しました。
- ② 企画展エリアの見学の様子。たくさんの方にご見学いただきました。
- ③ 正式公開に併せて国立科学博物館よりお借りしたキリンの骨格を展示しました。
- ④ 定期交換展示室の見学の様子。
- ⑤ 歴史系展示室の見学の様子。
- ⑥ 自然系展示室でクイズと塗り絵に挑戦しているお子さんもたくさんいらっしゃいました。

【活動日誌162】むさしの発見隊のイベント準備を進めています

社会連携活動の一環として継続的に実施している、武蔵野市教育委員会主催のワークショップ：むさしの発見隊「武蔵野動物観察隊4 野鳥の羽でグッズ作り」。開催が来週末となり、先日スタッフの方と最終打ち合わせを行いました。

今回のイベントでは、武蔵野市内に在住・在学の小中学生を対象に、身近な野鳥の羽を材料にしてグッズ(ピンブローチ・ハットピン)を作成します。打ち合わせでは当日の流れを確認・相談するとともに、実際に武蔵野ふるさと歴史館の担当者の方にもグッズを作成していただきました。

今回は10名の参加枠に小中学生合わせて30名以上の方にご応募いただき、事前告知で中学生を優先することになっていましたので、中学生10名の方に参加していただく予定です。手芸の経験がある人にもない人にも楽しく作っていただけるよう企画するとともに、素材の野鳥の羽根から野鳥たちにも興味を持ってもらえるように工夫したいと考えています。

イベント開催後にはまたイベントの様子も紹介したいと思いますので、どうぞ楽しみに。

(スタッフ 廣瀬)

#社会連携 #鳥の羽根 #日本獣医生命科学大学 #博物館

■【活動日誌115】ワークショップ「武蔵野動物観察隊3 どの羽? どんな羽?」を実施しました

<https://bit.ly/3H10Jgv>

昨年度のイベントの様子はこちらの記事で紹介しています

2023年11月11日の記事



- ① 打ち合わせ中、作り方を説明しながら、参加者にお話しする内容や、ピンブローチの作り方をどう説明すれば伝わりやすいかなどについても検討を進めました。
- ② 実際に武蔵野ふるさと歴史館のスタッフの方に試作していただいている様子。
- ③ 当日完成した試作品。ムクドリの尾羽を使ったピンブローチが完成しました。

【活動日誌163】コウノトリの剥製が到着しました

日本獣医生命科学大学附属博物館では日本の里山で暮らす野生動物に関連した資料を収集しています。先日、新たに作成したコウノトリの剥製が納品されました。剥製となったコウノトリは千葉県野田市にて死亡した個体です。野田市から死亡した個体をご寄贈いただき、環境省への届け出をした上で、当館にて剥製となりました。

コウノトリは、翼を広げると2mにもなる大型の鳥です。かつては日本各地で繁殖していましたが、乱獲や餌となる生き物の減少などの複数の要因が重なり、1971年に日本における野生のコウノトリは絶滅してしまいました。その後、1989年に飼育下での繁殖が成功し、2005年には野生復帰に向けた初の放鳥が行われ、少しずつ野生下での個体数が増え始めています。

関東では、コウノトリ・トキをシンボルに、水辺環境の保全・整備や地域振興等を通じて魅力的な地域づくりに取り組む「関東エコロジカル・ネットワーク」の活動があり、肉食であるコウノトリが生息できる豊かな自然環境の整備が進んでいます。今ある自然環境を守るとともに、新たな環境を整備していくことで、本学のある武蔵野市でも、野生のコウノトリが空を舞う姿を見ることができるようになるかもしれません。

今回作成した剥製は、年度内に展示を開始する予定です。展示については詳細が決まりましたらfacebookで報告いたします。

(学芸員 石井)

寄贈 # 日本獣医生命科学大学 # 博物館 # コウノトリ

■関東エコロジカル・ネットワーク ～コウノトリ・トキの舞う魅力的な地域作りを目指して～

https://www.ktr.mlit.go.jp/river/chiiki/river_chiiki00000035.html

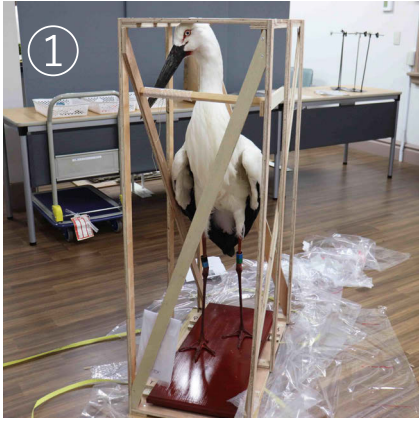
コウノトリ・トキをシンボルに、水辺環境の保全・整備や地域振興等を通じた魅力的な地域づくりを実施してきた「関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会」が、活動開始10周年を記念したシンポジウムを開催します(参加申込は本日11月16日まで)

■関東エコ・ネット連携イベント「おしえて！コウノトリ」

<https://tinyurl.com/2373feyt>

当館も関東エコ・ネットの活動に協力しています

2023年11月16日の記事



- ① 到着時の様子
- ② 剥製の全体像
- ③ まっすぐに伸びた黒くて長い大きなくちばしがコウノトリの特徴の一つです

【活動日誌164】企画展の見学受け入れとヒアリング

当館では11月3日より、当館第1回企画展「日本獣医生命科学大学附属博物館第1回企画展 キリンが来た道～麒麟児 長次郎の歩み～」を開催しています。

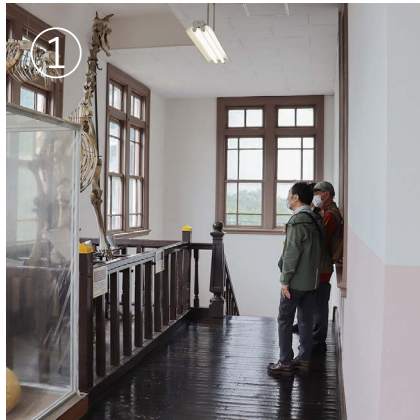
先日は、本学の卒業生であり、上野動物園で獣医として勤務されていた祖谷勝紀先生と、本学で動物園学の講義を担当されていた小林和夫先生がご来館くださり、企画展を見学いただきました。

見学時に、祖谷先生が1959年3月に上野動物園で飼育実習をしていた際に、長次郎の妹にあたるミナミが暮らしていたキリン舎から新設のアフリカ生態園への引越しが行われたというお話をお伺いすることができました。

博物館ではこの企画展を機に、今後もこの貴重な標本を長く活用していくために、情報収集や調査を続けていく予定です。もし情報をお持ちの方は、ぜひご提供をよろしくお願い致します。

(スタッフ 廣瀬)

#企画展 #キリン #日本獣医生命科学大学 #博物館



- ① 長次郎の骨格標本をご見学いただく様子
- ② 歴史系展示室のご見学の様子
- ③ 企画展をご案内している様子

【活動日誌165】剥製の状態調査

以前紹介させていただきました、一号棟に置かれている謎の大型海獣類の剥製調査について、また進展がありましたので続報をお知らせします。

これまでに、剥製のレントゲン撮影を行った結果、両後脚に指の先端の方の骨が残されていることがわかりました。その結果を踏まえ、種の判別を行うためのDNA解析について、現在ニホンアシカの研究を進めている国立科学博物館の地学研究部・生命進化史研究グループ長の甲能直樹博士にご協力をお願いし、実際に剥製の状態を見ていただくこととなりました。

当初は、剥製の外観にできるだけ影響を及ぼさないよう、骨を後脚の裏側から穴を空けて取り出す方法を検討していました。しかし状態調査により骨が後脚の表面近く(人間に例えると足の甲の部分)にあり、脚の裏側から穴を開けると後脚を形作っている分厚い石膏が崩れてしまう可能性があることが判明しました。そこで方針を変更し、後日改めて道具を用意し、後ろ脚の表面側から骨を採取することとなりました。

なお、今回の剥製の状態調査により、後脚の被毛部の形状から、剥製が少なくともトドではなく、アシカ属であることが判明しました。

次回は剥製から骨を取り出す作業を進める予定です。こちらについてもまたFacebookでご報告させていただきます。

(スタッフ 廣瀬)

鰭脚類 # 日本獣医生命科学大学 # 博物館

■【活動日誌153】剥製のレントゲン再撮影

<https://tinyurl.com/mryzcpns>

以前行った、前脚・後脚などのレントゲン撮影についてこちらの記事で紹介していません



- ① 剥製の後脚を裏側から観察できるように、頭と前足で体を支える状態に置き直した状態。両後脚の裏側の状態が観察できる。
- ② 後脚の状態を確認している様子。
- ③ 左後脚の表側。爪の後ろ部分の表面が上に盛り上がっていることから、骨が表面近くに位置していることがわかる。
- ④ 右後脚の表側。被毛部が指に向かって細く伸びるというアシカ属特有の特徴が確認できた。

【活動日誌166】キリン骨格標本の補強工事を行いました

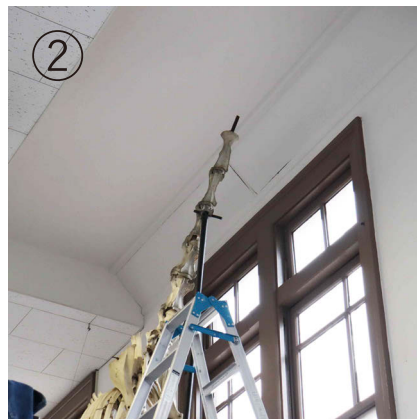
現在当館では第1回企画展「キリンが来た道～麒麟児 長次郎の歩み～」を開催しています。この企画展の主演である長次郎は、1940年に上野動物園で生まれたキリンです。1942年に井の頭自然文化園に引っ越したのちに4歳で死亡し、本学に運び込まれて骨格標本となりました。長次郎の骨格標本は、1968年以降は一号棟の2階にて展示され続けており、骨格標本を支える骨組みの劣化による頭蓋骨の落下が心配されていました。そこで、先日、頭蓋骨を支えるための補強工事を実施しました。

今回の補強工事では、頭蓋骨と頸椎をつなぐように金属のプレートを取り付けました。頸椎は太い芯材で支えられているため、頭蓋骨と頸椎をつなぐことで頭蓋骨の落下を防止することができます。

現在の長次郎の展示場所は、周囲3面が窓ガラスで囲まれています。晴れた日には強い日光が骨格標本に当たるため、標本の長期的な保存を考慮すると決して最適な展示場所とは言えません。今後は長次郎の解体やクリーニングも視野に入れ、長次郎の骨格標本を後世に伝えるための最大限の努力をしたいと考えています。

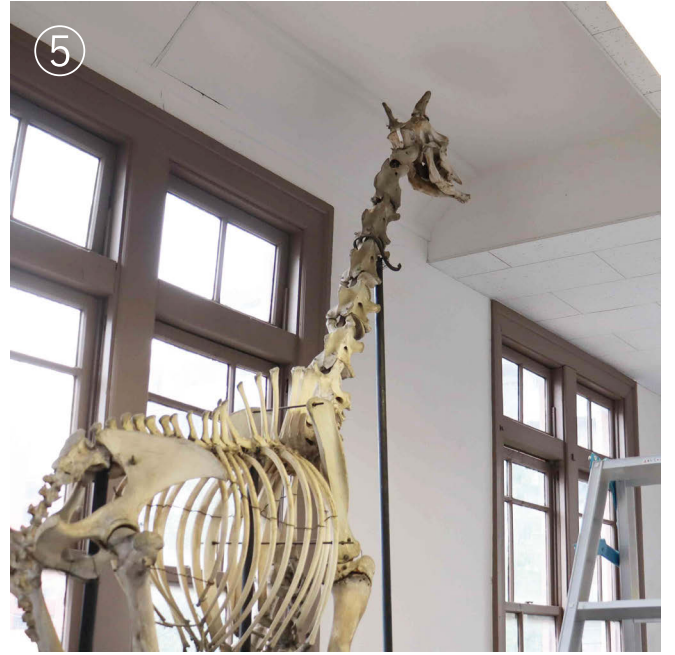
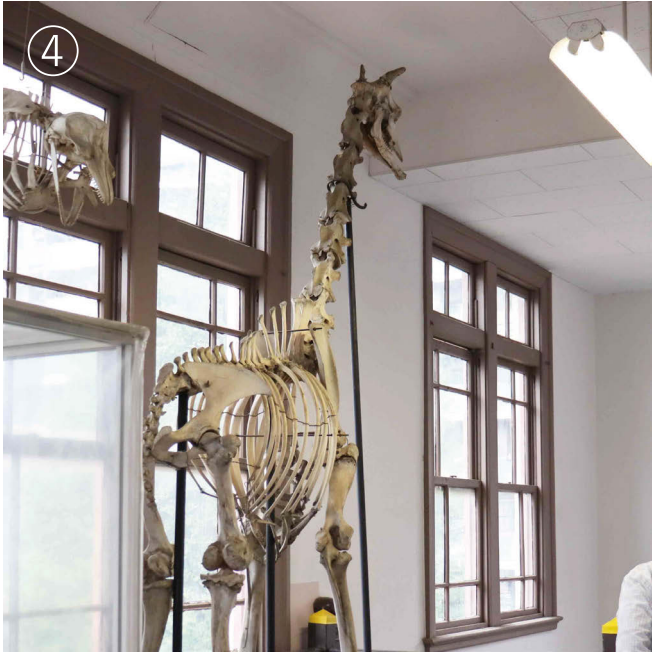
(学芸員 石井)

#企画展 #キリン #日本獣医生命科学大学 #博物館



- ① 補強のために一時的に取り外した長次郎の頭蓋骨。キリンが好きな方は、この写真を見て違和感を覚えるかもしれません。長次郎の角に秘められた謎は企画展のミニパネルにて紹介しています。
- ② 頭蓋骨を外した状態。
- ③ その場で長次郎の頭の形に合った補強用の金具を作っていただきました。

2023年11月25日の記事



④ 補強前の様子。

⑤ 補強後の様子：補強により頭の角度が若干変わり、長次郎がしっかりと前を向くようになりました。

【活動日誌167】

ワークショップ「武蔵野動物観察隊4 野鳥の羽でグッズ作り」に講師として参加しました

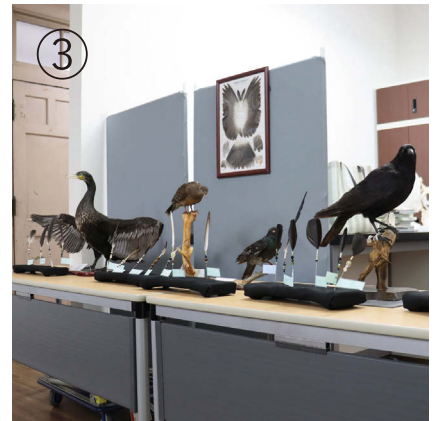
2023年11月19日に武蔵野市教育委員会主催のワークショップ「武蔵野動物観察隊4 野鳥の羽でグッズ作り」が当館を会場に開催されました。武蔵野ふるさと歴史館との連携事業の一環として、ワークショップの講師を当館スタッフ2名が担当しました。

当日は武蔵野市在住・在学の中学生9名が博物館の作業室に集合しました。ワークショップの前半では、武蔵野市でも見ることができる身近な野鳥5種の羽を観察してもらい、それぞれの羽が何の鳥のものなのかを当てるクイズに挑戦してもらいました。ワークショップの後半では、5種の羽の中から気に入ったものを2枚選んでもらい、自分が選んだ羽を材料にしてグッズ(ピンブローチ・ハットピン)を作成しました。最後に、野鳥の羽を扱う上での注意事項(羽の拾い方、洗い方、鳥インフルエンザに対する対応)を伝え、希望者にはイベント終了後に博物館の展示室を案内しました。

当日の様子の詳細は、後日当館公式サイトにて掲載する予定です。どうぞお楽しみに。

(学芸員 石井)

#鳥 #羽 #日本獣医生命科学大学 #博物館



- ① 羽の特徴を紹介するスタッフ
- ② ピンを作成する様子
- ③ 完成した作品
- ④ ドバトの羽を材料にした作品